

2019年度

日本大学史学会大会

2019年6月15日(土)

日本大学文理学部3号館5階

《研究報告》

○第1会場(3号館3506教室)

10:00～ 笠原 亮介(日本大学文理学部人文科学研究所研究員)

「鉦山の公害問題における中央政界の反応と議論—尾去沢鉦山を中心に—」

11:00～ 坂口 太助(日本大学非常勤講師)

「近代日本における海軍と社会との「接点」の考察—海軍諸機関及び関係団体の検討を通じて—」

(昼休み)

13:00～ 中田 崇(日本大学文理学部人文科学研究所研究員)

「日本大学文理学部資料館所蔵『赤木英道旧蔵資料』にみる満鉄対米弘報資料」

14:00～ 塚田安芸子(日本大学大学院文学研究科博士後期課程)

「終戦に向けた木戸幸一の行動—昭和天皇に達した「世論」—」

○第2会場(3号館3509教室)

10:00～ 乾 照夫(元東京情報大学教授)

「或る幕臣の明治維新について—真田仲次郎に関する覚え書き—」

13:00～ 浜田 晋介(日本大学教授)

「弥生時代の竪穴住居出土土器(残置土器)は何を意味するのか」

【公開講演】 15:00～

近藤英夫(東海大学文学部 名誉教授)

「インダス「文明」を考える」

会場: 3号館3507教室

※研究報告、公開講演共に参加自由

参加費(資料代含む): 100円(会員無料)

《総会》 16:40～ 会場: 3号館3507教室

《懇親会》 18:00～ 会場: カフェテリア・チェリー

※一般4,000円・学生2,000円

※京王線「下高井戸」駅、「桜上水」駅より徒歩10分

